

ISUZU

2025年3月期第1四半期 決算説明

2024年8月7日
いすゞ自動車株式会社

ISUZU

説明内容

1. 全体総括

2. 2025年3月期第1四半期 実績

将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その性質上、情報の正確性を保証するものではありません。また、当社は、これらの将来の業績および計画その他将来の情報等に関する記述につき、将来の事象および最新の情報等に基づいて随時更新する義務を負いません。

従いまして、本資料におけるかかる仮定および判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化、自動車市場の変化、為替変動、会社の経営環境の変化などを含む種々の要因によって、本資料に記載された情報は影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料に記載された情報に基づいて投資された結果、何らかの損害を被られましても、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

1. 全体総括

全体総括 '25年3月期 第1四半期実績



- 第1四半期の損益は、LCVの台数減・資材費等の上昇あるも、価格対応の推進・円安影響により、増益。
- CVは、国内／海外共に先期並の台数で推移。
- LCVは、厳しい市況に加えて、タイ国内向けが販売サイドの在庫調整を実施しているため、大幅減。

グローバル販売台数(千台)		'24/3-1Q	'25/3-1Q	前年同期比増減	
CV計	国内	17	18	+1	+3%
	海外	54	52	▲2	▲4%
		71	70	▲1	▲2%
LCV計	タイ	35	7	▲28	▲81%
	輸出	58	49	▲9	▲15%
		93	56	▲37	▲40%
合計		164	126	▲38	▲24%

為替実績	'24/3-1Q	'25/3-1Q	増減
USD/JPY	137.5	155.8	+18.3
AUD/JPY	91.9	102.7	+10.8
EUR/JPY	149.7	167.8	+18.1
THB/JPY	3.99	4.25	+0.26

決算実績(億円)				
売上高	7,755	7,480	▲275	▲4%
営業利益	686	769	+83	+12%
経常利益	749	832	+83	+11%
当期利益	450	469	+19	+4%

当社の製品カテゴリを示す用語について(P.15の付表をご参照ください) CV (Commercial Vehicle)：商用車（トラック及びバス）、LCV (Light Commercial Vehicle)：ピックアップトラック及び派生車

全体を総括して、ご説明します。

まずは第1四半期実績です。

損益は、LCVの台数減、資材費等の上昇によるマイナスはありましたが、価格対応の推進、円安影響によるプラスが上回り、前年に対して増益となりました。

台数面では、CVは、国内／海外共に、先期並の台数で推移しました。LCVは、厳しい市況に加えて、タイ国内向けが、販売サイドの在庫調整を実施しているため、大幅に減少しました。

為替実績は、記載の通りです。



全体総括 '25年3月期 見通し



- CVIは、国内／海外共に想定線で進捗しており、5月に公表した期初見通しを据え置く。
- LCVは、タイの市況が厳しく、想定していた「後半期からの緩やかな回復」の遅れによる台数減を見込む。
- 損益見通しは、1Qの円安影響による上振れあるも、LCVの台数減、資材費等の更なる上昇が見込まれるため、期初見通しを据え置く。

グローバル販売台数(千台)		期初見通し	今回見通し	増減	
CV計	国内	97	97	CV販売台数見通しは据え置き	
	海外	226	226		
		323	323		
LCV計	タイ	90	60	▲30	▲33%
	輸出	192	192	-	-
		282	252	▲30	▲11%
合計		605	575	▲30	▲5%

決算見通し(億円)

売上高	33,500	33,500	売上高/利益/配当の見通しは据え置き
営業利益	2,600	2,600	
経常利益	2,750	2,750	
当期利益	1,600	1,600	
1株当たり配当	92円	92円	

【為替前提】
2Q以降は、期初見通しの前提レートを据え置き。
USD/JPY：145.0円、AUD/JPY：98.0円、EUR/JPY：160.0円、
THB/JPY：4.10円

4

続きまして、25年3月期の通期見通しです。

台数面では、

CVIは、国内／海外共に、想定線で推移しており、5月に公表した期初見通しを据え置いています。

LCVは、タイ国内向けが、厳しい市況を受けて、期初に想定していた「後半期からの緩やかな需要の回復」が遅れることを見込み、台数を下方修正しています。輸出向けは、変更ありません。

損益見通しは、

第1四半期では、円安影響により期初見通しから上振れていますが、第2四半期以降、LCVの台数減、資材費等の更なる上昇が見込まれるため、期初見通しを据え置いています。

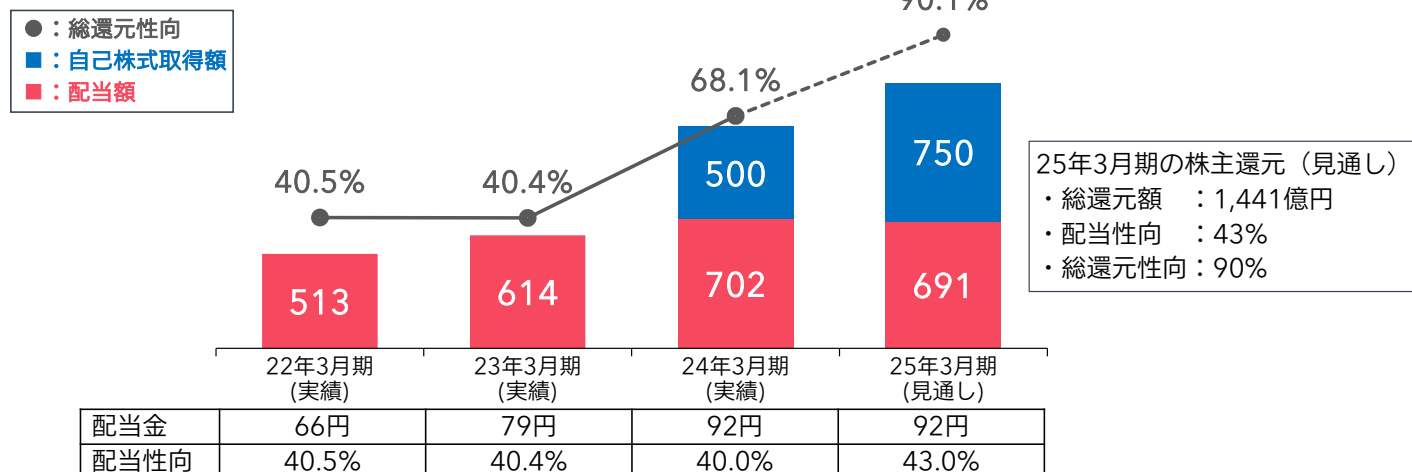


全体総括 株主還元方針

ISUZU

- 自己株式の取得について、中期経営計画で掲げた「適正な自己資本水準を意識しつつ、機動的な実施を継続する」方針に基づき、今期中に750億円を上限に実施する。取得後は全数消却を予定。
- 配当金（通期）の見通しは、92円から変更なし。（配当性向 43%）
- 総還元性向は、90%となる見通し。

（単位：億円）



5

最後に、株主還元方針をご説明します。

本日、当社のホームページでもお伝えしていますが、中期経営計画で掲げた「適正な自己資本水準を意識しつつ、機動的な実施を継続する」方針に基づき、今期中に750億円を上限とした自己株式の取得を行います。
なお、取得した自己株式は、全数を消却する予定です。

配当金の見通しは、92円から変更ありません。

総還元性向は、90%となる見通しです。

全体総括は、以上になります。

ISUZU

2. 2025年3月期第1四半期 実績

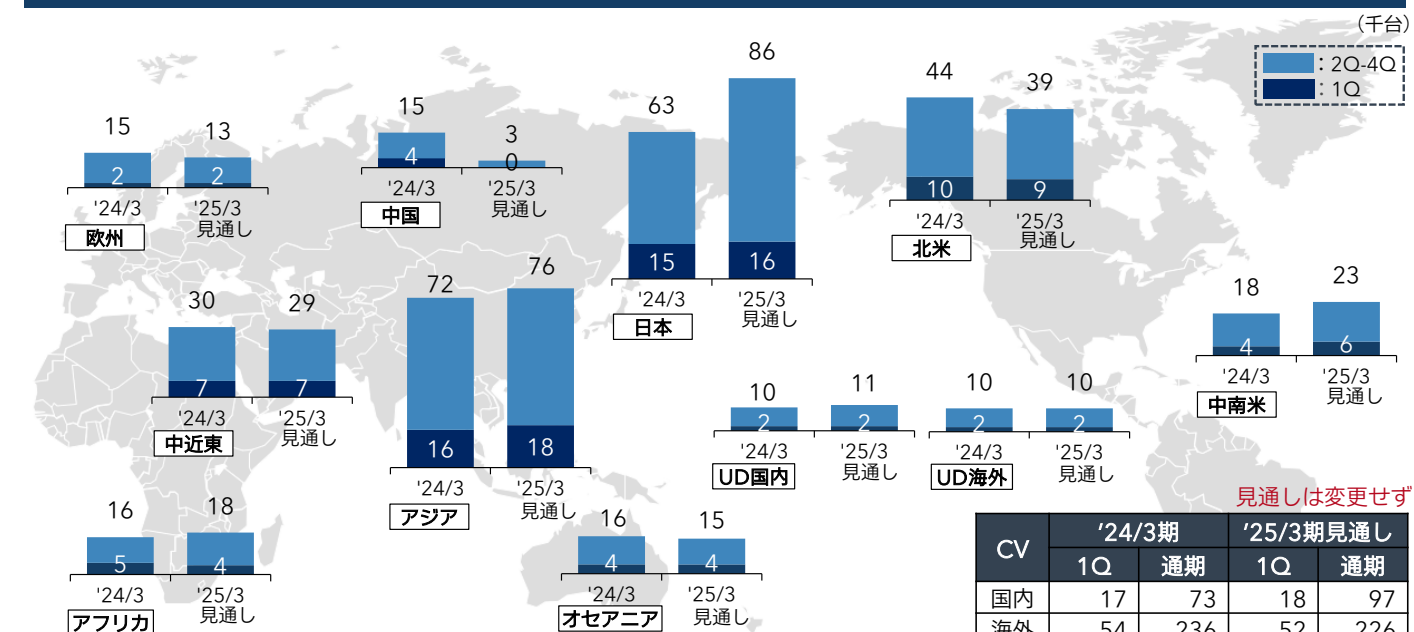
6

続きまして、25年3月期第1四半期 実績についてご説明します

CVグローバル販売台数

ISUZU

■ 1Qは、国内／海外共に想定線で推移。通期見通しは変更せず。



*国内CV：卸売／直納、海外CV：北米／豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷

CVグローバル販売台数です。

第1四半期は、国内／海外共に、想定線で推移しました。

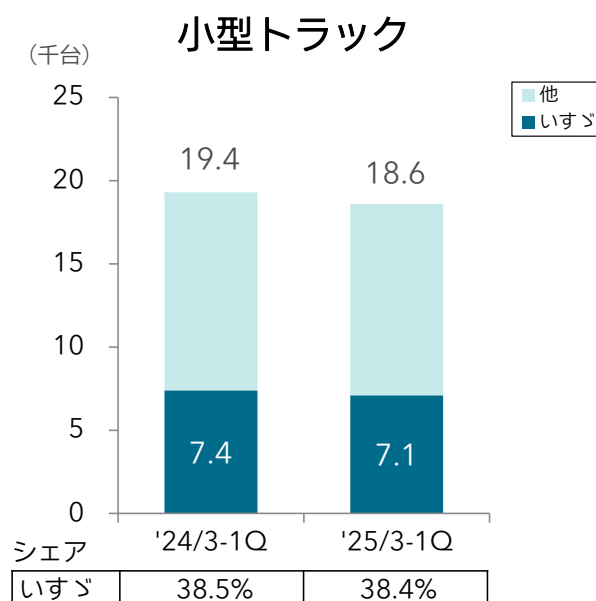
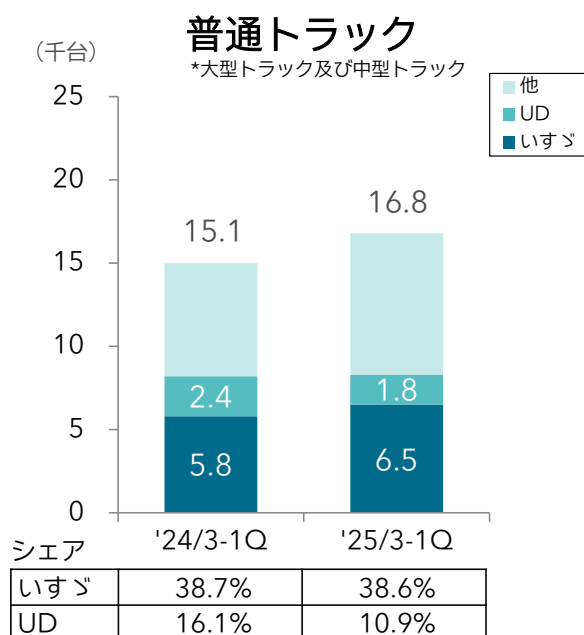
このため、通期見通しは変更していません。

ISUZU

国内トラック 全需・シェア実績

ISUZU

- 全需：普通トラックは先期から若干の増加、小型トラックは先期並で推移。
- シェア：普通／小型共に、先期並で推移。



国内の全需及びシェアの実績です。

全需は、普通トラックが先期から若干の増加、小型トラックが先期並で推移しました。

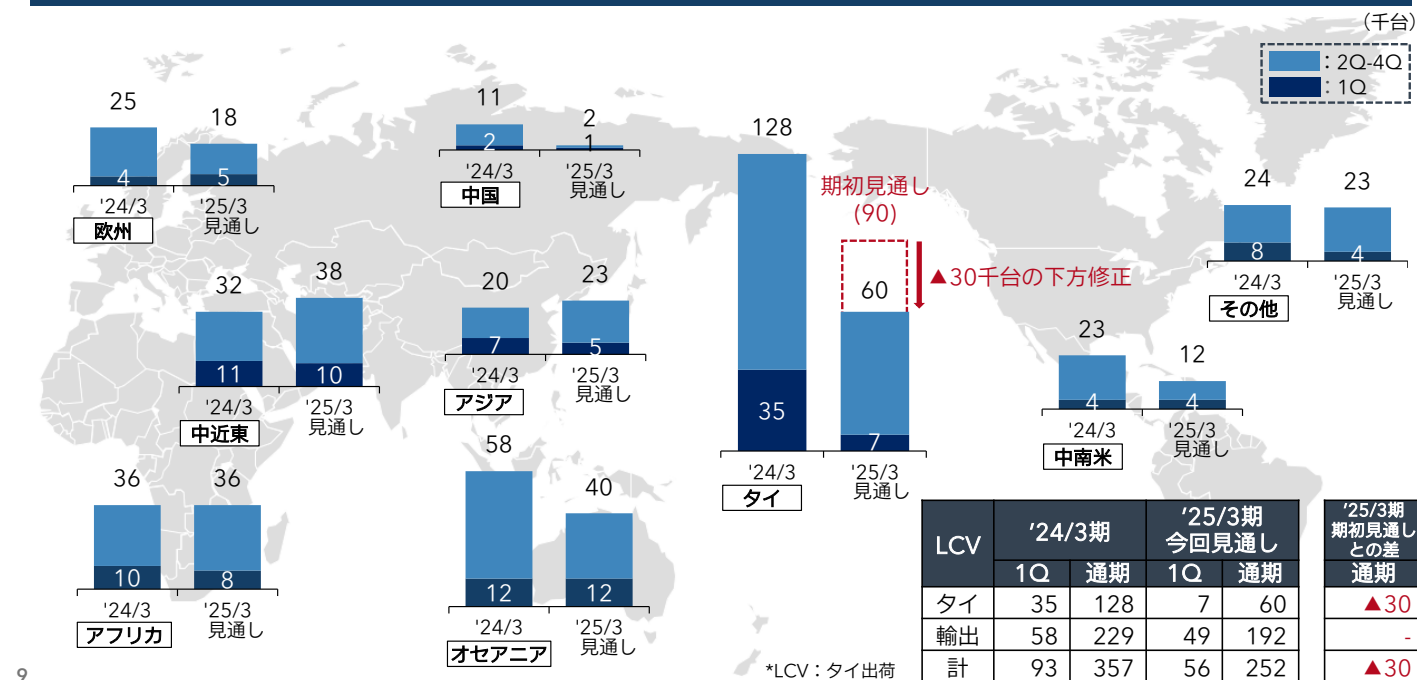
シェアは、普通／小型共に、先期並で推移しました。

ISUZU

LCVグローバル販売台数

ISUZU

- 1Q：タイ／輸出共に台数減。タイ向けは、販売サイドの在庫調整を実施しており、実需以上に減少。
- 通期：タイ国内向けは、想定以上に市況厳しく、回復が遅れることを見込み ▲3万台の下方修正。



LCVグローバル販売台数です。

第1四半期は、タイ／輸出共に台数減となりました。

タイ国内向けは、販売サイドの在庫調整を実施しているため、実需以上に大きく減少していますが、ほぼ期初想定通りの台数となっています。

通期見通しは、タイ国内向けが、想定以上に厳しい市況を受けて、期初に想定していた「後半期からの緩やかな需要の回復」が遅れることを見込み、9万台から6万台に下方修正しています。

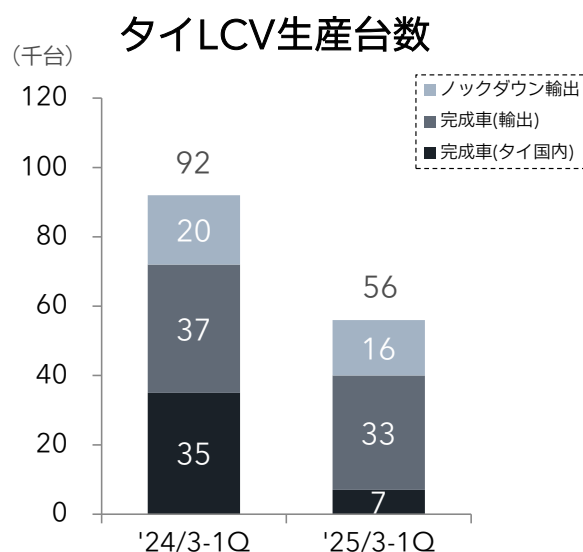
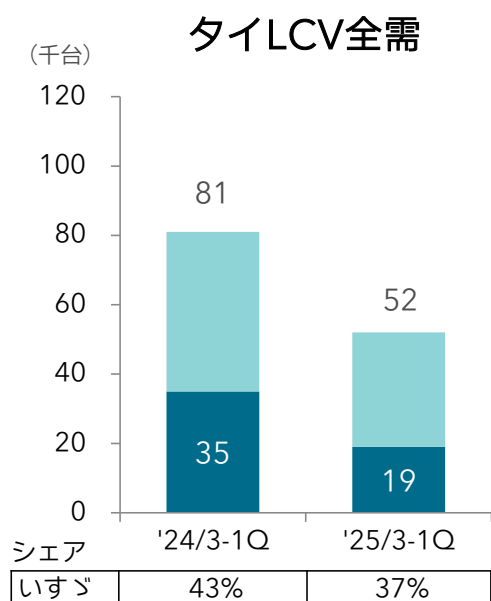
輸出向けは、変更していません。

ISUZU

タイLCV 全需・シェア実績／生産台数実績

ISUZU

- 全需は、厳しい市況により▲36%減少。シェアは、他社の新型車投入効果もあり減少。
- 生産台数は、タイ国内向けを中心に大幅減。



タイのLCV全需、シェア、及び生産台数の実績です。

全需は、厳しい市況により、先期から▲36%減少しました。
シェアは、他社の新型車投入効果もあり、減少しました。

生産台数は、タイ国内向けを中心に大幅減となりました。

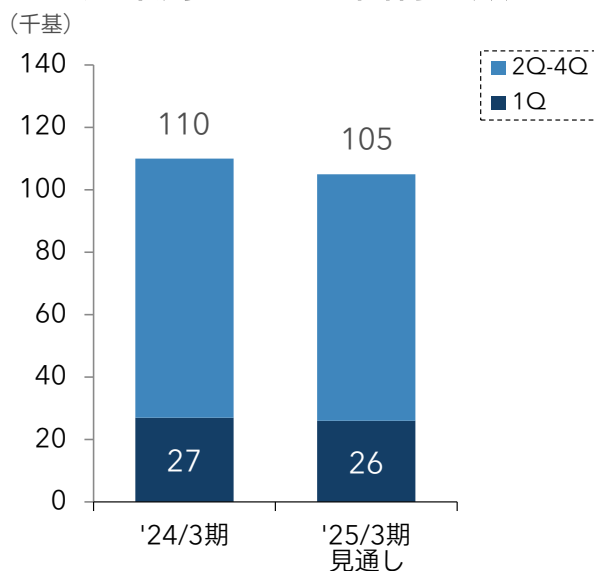
ISUZU

産業用エンジン出荷/アフターセールス売上実績

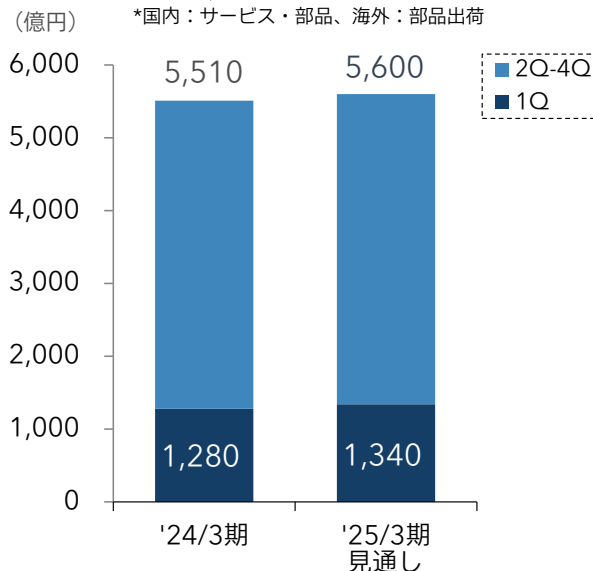
ISUZU

- 産業用エンジン：中国の市況厳しく、先期並に留まる。
- アフターセールス：国内／海外共に想定線で進捗。

産業用エンジン出荷基数



アフターセールス



産業用エンジン、アフターセールスです。

産業用エンジンの出荷実績は、中国の市況が厳しく、先期並に留まりました。

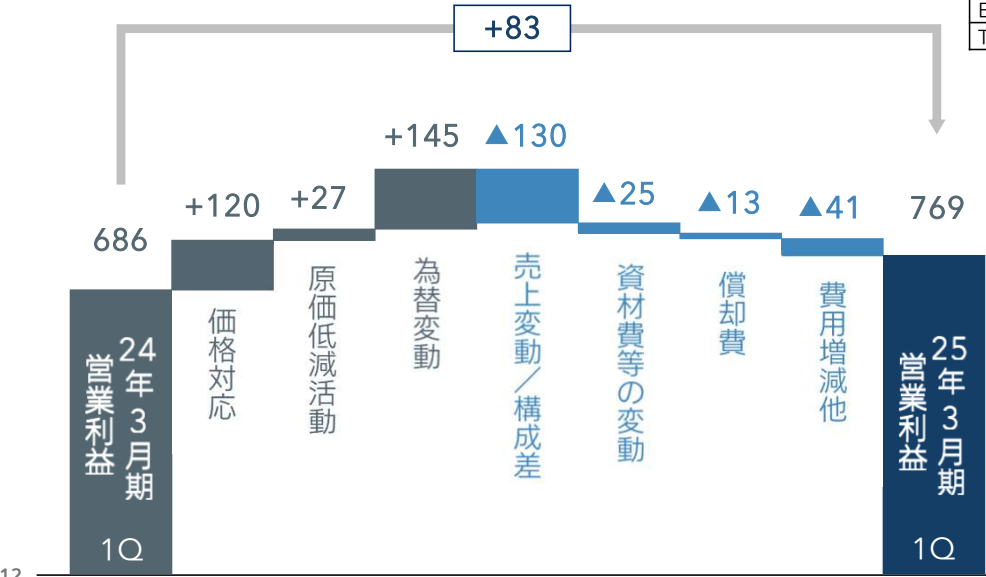
アフターセールス売上は、国内／海外共に、想定線で進捗しています。

’25年3月期 第1四半期 営業利益増減分析 -前年同期比-



■ LCVの台数減・資材費等の上昇によるマイナスあるも、価格対応の推進・円安影響によるプラスが上回り、+83億円の増益。

(億円)



為替実績	'24/3-1Q	'25/3-1Q	増減
USD/JPY	137.5	155.8	+18.3
AUD/JPY	91.9	102.7	+10.8
EUR/JPY	149.7	167.8	+18.1
THB/JPY	3.99	4.25	+0.26

内訳	増減
売上変動／構成差	▲130
国内CV	+10
海外CV	▲20
LCV	▲140
その他	+20
為替変動	+145
USD	+50
AUD	+30
EUR	▲15
THB他	+80
資材費等の変動	▲25
資材費	▲20
物流費	▲5
電気・ガス他	▲0
費用増減他	▲41
開発費	▲22
労務費	▲13
一般経費他	▲6

続きまして、営業利益の増減分析になります。

LCVの台数減、資材費等の上昇によるマイナス影響はありましたが、価格対応の推進、円安影響によるプラス影響が上回り、+83億円の増益となりました。

為替実績は上段に記載した通りです。

'25年3月期 第1四半期決算実績 - 前年同期比 -

ISUZU

(億円)	'24/3-1Q	'25/3-1Q	前年同期比増減	
売上高	7,755	7,480	▲275	▲4%
営業利益	686	769	+83	+12%
経常利益	749	832	+83	+11%
当期利益*	450	469	+19	+4%

	'24/3 1Q	'25/3 1Q		'24/3 1Q	'25/3 1Q
営業利益	686	769	経常利益	749	832
持分法による投資損益	+10	+13	投資有価証券売却損益、固定資産売却損等	▲2	▲5
為替差損益	+34	+26	事業再編関連損失	▲22	▲64
その他	+19	+24	法人税等	▲163	▲170
経常利益	749	832	非支配株主に帰属する当期純利益	▲112	▲124
			当期利益*	450	469

*親会社株主に帰属する当期純利益

13

営業利益以下の説明です。

経常利益は、営業利益769億円から、持分法による投資損益、為替差損益などを加減し、832億円となりました。

当期利益は、経常利益832億円から、連結子会社であったIJTTの再編に伴う関連損失▲64億円、法人税等、非支配株主に帰属する当期純利益などを加減し、469億円となりました。

なお、24年3月期にも、事業再編関連損失▲22億円を計上していますが、こちらはロシア事業の撤退に伴う損失になります。

これをもちまして、いすゞ自動車株式会社2025年3月期第1四半期決算説明を終了します。

ご視聴いただき、有難うございました。

ISUZU

地球の「運ぶ」を創造する

ISUZU

(付表)本資料で使用している当社の製品カテゴリを示す用語について

ISUZU

CV (Commercial Vehicle)

- トラック及びバスの総称
- トラックは、主に日本を拠点に生産・輸出（いすゞ拠点：神奈川県 藤沢工場、UDトラックス拠点：埼玉県 上尾工場）
- バスは、日野自動車との合併企業であるジェイ・バスで生産され、いすゞ／日野の両ブランドで販売

<主なラインナップ>



大型トラック「ギガ／クオン」



中型トラック「フォワード」



小型トラック「エルフ」



路線バス「エルガ」



観光バス「ガーラ」

LCV (Light Commercial Vehicle)

- 1トン積みピックアップトラック、及び同車をベースにしたPPV(Pick-up Passenger Vehicle)の総称
- 主にタイを拠点に生産・輸出

<主なラインナップ>



ピックアップトラック「D-MAX」



PPV「MU-X」

(付表) 販売台数の集計ポイントについて



連結販売台数：決算短信の「連結販売実績」に記載される台数

